

## 令和3年度活動報告

---

### 江角学びの交流センター

#### 概要：江角学びの交流センターとは

当センターは本学の附属機関として、地域社会に開かれた窓口としての機能を担い、各学科・専攻の学生・教職員による主体的かつ組織的な地域貢献活動を推進している。その活動内容は、自治体や産業界との連携事業、市民講座の開講、学生ボランティア活動の支援、社会人のためのリカレント教育の充実、地域志向の教育課程の編成等々多岐にわたっている。

個々の活動内容の詳細については、主に本学公式サイトで随時情報発信している。また、毎年度末の「評議員会」（当センター規約第7条）では、自治体および産業界からの学外評議員を委嘱し、本学の地域貢献活動およびそれと連動した教育課程について、客観的に評価していただき意見聴取をしている。その資料集「江角学びの交流センター事業概要」を下記 URL にて毎年更新しているので、ご高覧いただければ幸いである。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/ezumi-center/>

#### 1 地域人間科学研究所

本学正規授業「かごしま学Ⅰ」の1コマを毎年公開講義として、一般市民の方々に聴講いただいているが、令和2年度に続き3年度もコロナウィルス感染症拡大の影響により、実施できなかった。同様に隔年実施している「文化講演会」も、不特定多数の聴衆を集めるに際して、感染予防対策が万全とは言えず、中止と判断せざるを得なかった。コロナ後を見据えた企画の検討を続けている。

本書『想林』第13号はここに刊行されたが、文化講演会中止による誌

## 令和3年度活動報告

面への影響が避けられなかった。執筆者の皆さまにはこの場を借りて感謝申し上げるとともに、変わらず一般の方々の投稿を切にお待ちしているので、皆さまのご協力を仰ぎたい。

「かごしま学」をはじめ、本学の教育課程に多々ある地域志向型科目のあり方を今後も追及し、有意義な郷土教育の一翼を担えるよう改善に努めていく所存である。

## 2 生涯学習支援室

### (1)「純心市民講座」

令和3年度「純心市民講座」各講座の実施状況は表1のとおりである。夜間の外国語講座や調理講座は、コロナ禍の中、閉講せざるを得なかった。コロナ後を見据えた開講の在り方を考える機会にしたい。

表1 令和3年度「純心市民講座」実施状況

講座区分	講座名	担当講師	対象	受講者数	会場
(かごしま県民大学とことんまなぶ講座)	シルバー世代のための健康・教養講座 7/3, 7/17, 7/31, 1/8, 1/22 土曜 13時半～15時 (全5回)	河野 一典 吉留 早木子 Matthew Watson 鎌田 典子 北山 敏秀	一般成人	延べ65名	かごしま県民交流センター
こども英会話講座	はじめての英会話（幼児コース・春季） 6/19～7/31 土曜 ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 (各コース 全5回)	John Tremarco	就学前の児童 (4～6歳)	① 8名 ② 4名	本学 江角学びの交流センター プレイルーム
	はじめての英会話（小学生コース・春季） 6/19～7/31 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 (各コース 全5回)	David O'Connor	小学生	① 9名 ② 8名	本学 10号館401教室
	はじめての英会話（幼児コース・秋季） 10/16～12/4 土曜 ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 (各コース 全5回)	John Tremarco	就学前の児童 (4～6歳)	① 9名 ② 9名	本学 江角学びの交流センター プレイルーム
	はじめての英会話（小学生コース・秋季） 10/16～12/4 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 (各コース 全5回)	David O'Connor	小学生	①13名 ② 6名	本学 10号館401教室
調理・食育講座	冬のおもてなし料理 11/27（土）10時～13時	大山 典子	一般成人	10名	本学 調理実習室 (1号館202教室)

## 想林第13号

講座区分	講座名	担当講師	対象	受講者数	会場
調理・食育 講座	親子で楽しくクッキング 8/12（木）10時～13時	榑 順子	小学生と 保護者	中止	本学 調理実習室 （1号館202教室）
	親子で楽しく実験！ 8/13（金）13時～16時	三島 朋子	小学生と 保護者	10組 24名	本学 実験室 （1号館401教室）
デザイン 講座	オリジナルバッグを作ろう Part2 12/11（土）13時～16時	濱崎 千鶴	小学校高 学年～ 一般成人	10名	本学 被服実習室 （2号館303教室）
	大島紬で立体マスクを作ろう 6/12（土）13時～16時	宮地 真奈美	高校生	12名	本学 被服実習室 （2号館303教室）



シルバー世代のための健康・教養講座



オリジナルバッグを作ろう

### (2) リカレント教育

社会人の学び直しの講座（正規の授業を含む）の充実に努めている。

「科目等履修生」：いくつかの条件の審査をクリアすれば、本学の全授業科目が、一般に開放されている。

「履修証明プログラム」：令和3年度は5つのプログラムを公開した。本プログラムは1年間で本学の正規授業数科目を組み合わせ受講し、修了者には一定の職業的知識・技能を習得したことが認められ、学校教育法105条の規定に基づく履修証明書を交付する。

社会人に開かれたこれらの開講科目を常に検討し、多くの社会人の方々のニーズに応えられるように努める所存である。下記 URL をご覧いただければ幸いである。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/region/>

当センターの生涯学習支援活動は、市民生活に寄与し地域社会の学びの交流の橋渡しとなるとともに、本学の教育・研究機能を活性化することに繋がっている。皆様の温かいご協力ご支援を仰ぎたい。

（文責 河野一典）

### 3 こどもの未来支援室

「純心こども講座」として、例年どおり「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の2講座を企画し実施した。

今年度は「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」ともに、年間で4回の実施を計画し、全て実施することができた。昨年度同様に、密集、密接、密閉を避けるため、募集定員を減らし、新型コロナウイルス感染症への対策をとった上での実施となった。

春季講座として5月・6月に各1回、秋季講座として10月・12月に各1回実施した。講座の開始時刻は、昨年度同様に午前10時開始とした。表2は、実施状況を示したものである。

表2 令和3年度「純心こども講座」実施状況

講座名	回	期日	担当講師	定員	受講者数	
リズムあそび 会場:本学体育館	1	5/15	萩原 香織	40組	12組	13名
	2	6/12			15組	18名
	3	10/9	吉留 早木子		18組	21名
	4	12/11			17組	21名
いろとあそぼう・かたちとあそぼう 本学:プレイルーム	1	5/15	榎本 容好	20組	12組	17名
	2	6/12			10組	14名
	3	10/9			8組	13名
	4	12/11			8組	12名

注1 対象:就学前(2歳~6歳)の親子



リズムあそび



いろとあそぼう・かたちとあそぼう

今年度の「リズムあそび」では、講座のプログラムの前半にコーナー遊びを実施し、後半に全体でのリズム体操を行う方法で実施した。

この方法での実施は、昨年度から取り入れたものである。これまでこども講座を実施してきて、「遅れてすみません、途中からでも参加できますか」や「初めての場だったからか、全然ダンスに参加してくれませ

んでした」といった保護者の方からの声を聞くことがあった。親子を対象とした講座では、参加者全員が開始時間に揃っていないことも珍しくない。また、初めて参加する子どもは、場に慣れるので精一杯という場合がほとんどである。プログラムの前半にコーナー遊びを取り入れたことで、遅れても参加しやすく、初めてでも遊んでいるうちに場の雰囲気や初めて出会う学生にも慣れ、後半の活動にスムーズに参加できたようである。

純心こども講座では、参加した親子が楽しめることを大切にしている。何をすれば楽しんで貰えるかだけでなく、どうすれば参加しやすくなるのかについて、今後も検討していきたい。

「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」で特筆すべき点は、秋季講座において一回完結型でなく、連続性のある活動を提供することができたことである。これまでも、平面から立体に、個人から集団での活動にといった、4回の講座を通した大きな意味での連続性は意識して講座を企画してきた。しかしそれは、企画する側にとっての連続性であり、参加者にそれらがはっきり感じとられるものではない。今年度は、前回の講座で使用した材料を、それとわかる状態で次の講座でも活用することに挑戦した。

10月の講座では、段ボールを用いて立体的なパズルの製作に取り組んだ。直方体のそれぞれの面に色を塗り、組み上げるとハロウィンにちなんだ絵が現れる活動であった。12月の講座では、10月に使用した段ボールを再利用した。段ボールを展開し、底辺の短い二等辺三角形のパーツに切り分け、色を塗り、それらを再度貼り合わせて、大きなクリスマスツリーを製作した。活動中、子どもたちから「これ、このまえ、いろぬったよね」という声が聞かれたり、保護者アンケートに「10月のパズルがツリーになってすごいと思いました」といったコメントが寄せられたりした。

10月の講座で塗った色に、12月にさらに色を重ね、10月とは全く別の立体に仕上げていく過程を講座として提供したことで、これまでの「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」にはなかった継続的・発展的講座とすることができた。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大で、純心こども講座の開催自体

## 令和3年度活動報告

が危ぶまれる場面が今年度もあったが、おかげさまで当初の計画通り実施することができ、「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」とともに、純心こども講座の新たな可能性を感じることができる内容となった。また、指導補助員として参加した本学こども学専攻の学生にも、学びの機会を提供できた。

2講座、4回ずつの小さな取組ではあるが、次年度も地域の子育て支援の一助となれるよう、今年度の実施を踏まえ、さらに参加者が楽しめる講座を企画していきたい。

最後に、純心こども講座を毎年楽しみにしてくださっている地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げたい。

(文責 森木朋佳)

